

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第100号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

イグレンニュース100号記念

芝 忠

100号続いたのが凄い。

編集者・関係者に感謝したい。今後は、会員の皆様の投稿を増やしたいと思います。さて、最近の異グ連関連事業の中から時代の動きとして感心させられた話を取り上げてみます。

昨年末に実施した関東学院大学生を対象とした「**新潟中小企業見学会**」には学生が9名参加し、中小企業に対する見方を大きく変えることに成功しました。

見学企業4社は自動車・航空宇宙・電機電子という日本を代表する産業を支える中小企業で、学生は「大企業というのは中小企業に支えられているんだ」、工場建屋の大きいのを見て、「大企業だと思った」、従業員の姿を見て「働くという意味が分かった」。「社長と社員との距離が短いのがいい」「学生の大部分は中小企業のことには勘違いしている」などの感想がありました。見学4社はいずれも国内でやっていく、という経営者の強い意志があり、海外進出一辺倒の流行に対して大きな警鐘を鳴らしています。同時に、3社が神奈川から全面移転もしくは一部移転した会社で、本県の工場立地問題を考えさせられました。

シフト21の「**新年プレゼン交流会**」では12人が発表しましたが、医療・福祉・安心・安全・教育など家族や個人が直面している社会変化に対する、新たなビジネスチャンス提案し、同志を募っていましたが、時代変化を読み取る上で参考になりました。所在地が横浜市都筑区の方が目立ち、新規創造企業の立地動向としても考えさせられました。

野毛地区が提案している横浜市歌をアレンジした盆踊り「**アラメヤ音頭**」の推進会議では、横浜市内各区の自主的なリーダー（おばさん達）が地域に広めようとして真剣な議論を交わしていました。凄いエネルギーで、区長を引き込んだり、ワシントンの桜祭りへ乗り込もうという計画やら、盆踊り音楽の時間短縮提案など、実践に基づく意見が相次ぎ、圧倒される状況です。こうした人たちが地域を支えているんだと改めて気付かされました。

「**テクニカルショウよこはま2011**」では、かつて盛んだった異業種グループに代わって、多様な団体が出展しています。科学技術者フォーラム・横浜ファクトリーパーク研究会・神奈川県非破壊試験技術交流会、変わったところで心技隊や産業Naviの経営者福祉振興財団、県外からの出展も多様化し、県段階から上越市や、北九州市、燕三条など市域の取り組みが目立ちます。大学も多数出展しています。一律ではなく、それぞれが工夫を凝らして単独企業の出展から何らかの団体・グループという試みを感じます。異グ連のブースは小さなものですが、人との繋がりが強く、ひっきりなしに知り合いから声がかかりました。大勢、お客さんに寄っていただき、小規模でも、ネットワークの広がりを感じた3日間でした。

これからも100号をステップに新たな一歩を踏み出したいと思います。

以上

産学官交流サロンのコーナー

第30回（1月17日）西湘サロンの報告

吉池正樹

西湘サロン開始5周年記念第1弾の話題提供は**創業明治8年、135周年を迎える老舗、山田呉服店**の代表取締役山田彰夫氏のお話でした。当店は小田原市「街かど博物館2」の一角に店舗を構え、店内では絹織物をつくる工程が詳しく解説され、染物の型紙なども展示されています。

氏は昭和36年25歳で家督を引き継ぎ、当時赤字経営であった当店をいろいろと工夫、改善を重ね、現在まで育て上げたもので、その経営理念や、“山あり谷あり”の事態への対処等含蓄のあるお話を伺いました。

第31回西湘サロン開催案内 (西湘サロン5周年記念第二弾)

*日 時：平成23年3月14日(月) 18:00~20:00 (開場17:30)

*場 所：小田原市第三区公民館 (小田原市栄町1-16-41)

*話題提供：「幕末から明治維新にかけての湯本村の発展と福住家について」

箱根の老舗旅館“萬翠楼福住” 楼主 福住治彦氏

箱根温泉発祥の地に1625年創業。旧館は平成14年に現役旅館として初めて、国の重要文化財建造物に指定され、「神奈川県の建築100選」にも選ばれている。第16代経営者が、その建築物の紹介を含め、旅館経営のお話しをします。

*会 費：1,000円 (ビールと簡単なおつまみ付)

*申 込：異グ連事務局 島津、吉池、芝 045-633-5142

*平成18年3月西湘サロン第1回開始以来、皆様に暖かいご支援を頂き、平成23年で5周年を迎えることになりました。これを記念して5周年記念3シリーズを計画しましたが、今回はその第二弾です。

<予告>

第32回第三弾：H23年05月09日 ガラス作家・ipada代表 濱館 寛氏

おなじみ尾上町サロン (ぶらり参加大歓迎!!)

日 時：原則第一・三金曜日 (02月18日、03月04日、18日) 17:15~19:30

場 所：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所 参加費：1000円 (現物も大歓迎)

話 題：自由に持ちより (テーマの事前予約OK) 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**まんてんプロジェクト**

千田泰弘

- JASPAに対し航空機産業関連の調査や相談が多く寄せられる様になったので、航空機産業参入、先端技術の事業化などのテーマに係るコンサルタントサービスを本年1月から開始した。
- 昨年MROを締結したカナダCRIAQとの国際共同開発を進める準備を行っているが、まずは日本で開発した素材と加工方法のトップ技術を航空機分野に転用する共同研究を進めるため、その候補を集めることとしている。自薦、他薦で航空機以外の分野において開発したオンリーワン、ナンバーワンの素材や加工技術があればJASPAまで提案して欲しい。

シフト21 【<http://www.shift21.jp/>】

有村知里

1月に開催した「新年プレゼン交流会2011」(1月22日)は52名の参加をいただき、12社のプレゼンテーション、8社の展示を実施し、さらに懇親会で交流を深めて盛会のうちに終了いたしました。参加者からは、いろいろな業種の方と知り合えたことは今後の財産となる、5分という短い時間で濃いプレゼンテーションには業務概要が簡潔に表現されており、その後の懇親会で個別に話題を発展することができた、と大変好評でした。

2月定例会 (2月8日開催) は株式会社ほっこりケアサポート代表取締役 三田一雄様に「日本の高齢者住宅事情について」と題して、高齢者住宅の種類とその選び方、特に有料老人ホームについてお話いただきました。

3月定例会は「目からウロコ・筆跡心理学の生かし方」をテーマに、テレビ等メディアでもご活躍の筆跡鑑定人・根本寛様に、筆跡からわかる性格など興味深いお話をいただきます。(3月8日(火)18時30分~かながわ県民センター)

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会(原則第2火曜日)を開催しております。

ゲスト参加大歓迎。お問合せは有村まで。(arimura-c@nifty.com)

第115回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳

日 時：2011年02月23日(水) 例会15:00～17:15 懇親会17:15～18:15

場 所：例会は神奈川中小企業センタービル 5階会議室

会社紹介Ⅰ：八重洲さくら通りクリニック・臨床試験ボランティア会

会社紹介Ⅱ：株式会社 AG (美容関連アクセサリ) 課長代理 朴乃垠 (パクネウン) 氏

話 題：「最近のベトナム関連情報」 株式会社 アクティブブリッジ コンサルタント池邊正一郎氏

講 演：「液晶製品の安全クリーン&エコ洗剤の真髄」株式会社 アトム技研 部長・頼 俊蒼氏

申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp 携帯 080-3171-4069**第114回協議会 (新年会) の報告**

講 演：「高齢者から子供・まちなみの色彩環境いろいろ」

有限会社 色彩環境計画室 代表取締役 葛西 紀己子氏

町並みの色彩、青森県黒石市のごみせ*、医療環境の色彩、学校環境の色彩、ザ・ペインターズ活動、私立高校の学校経営など多義に亘り紹介された。町の色彩は場所によっては景観条例など制定する必要があるが賛同を得るには困難さも伴うであろう。町並みの色彩は外国の例と日本の例など比較して解説された。皆さんからは大変好評で参考になったようである。(終了後は「だんまや水産」で新年会) 以上

*雪国の雁木(軒の張り出しで傘いらず)で、黒石市のごみせ通りは日本の道百選に選ばれている。(編集室)

川崎異業種研究会「2月県内視察会」報告 ～JAXA相模原キャンパス～ 小野川利昌

川崎異業種研究会は2月県内視察会として、神奈川県中央に位置し、丹沢山地を望む静かな相模原市淵野辺にある“JAXA相模原キャンパス”を見学した。

相模原キャンパスは、旧宇宙科学研究所の中核部として、1989年4月に開設され、科学衛星、惑星探査機を打ち上げ、太陽の活動やブラックホール、月、惑星、さらに銀河の成り立ちなど、宇宙の謎の解明と、大気球による大気や宇宙の観測を行っている。

約4万坪の広大な敷地に、実物大の小惑星探査機「はやぶさ」をはじめ、金星探査機「あかつき」など、さらに宇宙開発黎明期のペンシルロケット(糸川教授)など歴史的な実機等を展示している展示室のほか、屋外展示場では、世界最大級の能力を持った固体燃料ロケットM-Vロケットの実物や、M-3SⅡロケット原寸模型がどっしりと構えていて圧巻であった。

ご多忙の中、案内をしてくださった並木さんは、「はやぶさ」の回収メンバーとしてオーストラリアへ出かけ、「もしヘリコプターなどの探索で見つからなければ、メンバー全員で歩いて探す覚悟であった」との臨場感のある話や、「衛星はかならず2個作り、1個で各種のテストを繰り返し、もう1個を打ち上げる」など盛りだくさんのお話を伺うことが出来た。

神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 042-759-8008 開館9:45～17:30 年中無休

お知らせ**灼熱市場インドネシアのビジネス事情**

～世界で4番目に人口の多いインドネシアは、中間所得層の購買力が上がり、市場としての魅力が高まっています。このような中でのビジネス近況と日系企業事例紹介を行います。～

日 時：H23年03月03日(木) 14:00～16:00 参加費：無料

会 場：横浜情報文化センター 情文ホール (横浜市中区日本大通り11番地)

講 演：「アセアンの大国“インドネシア” ～好転する経営環境と日系企業の動向～」

三菱東京UFJ銀行 国際業務部海外業務支援室 調査役 森下善雄氏

事例紹介：「出力全開、常夏の島国インドネシア ～ジャカルタ17年目の春～」

第一カーボン株式会社 代表取締役 加藤 豊氏

申込み：FAX045-225-3737で、(財)横浜企業経営支援財団 国際ビジネス支援部へ

氏名、企業名、所属、事業内容、所在地、TEL、FAX、E-Mail

または <http://www.ywbc.org/gbs/20110303.html> から受付中です。

